

三陸沿岸道路 宮古老道路 山口地区住民による現場見学会

概要

三陸沿岸道路「宮古老道路」は、宮古市松山（宮古中央IC）から宮古市田老字小堀内を結ぶ延長21kmの自動車専用道路です。この区間は、平成23年度に事業化となりました。現道の線形不良区間を回避し、走行性が向上するとともに、各都市の連絡時間短縮による地域間交流の活性化や、流通効率化による地場産業の復興支援、救急医療施設へのより迅速な搬送による安心な暮らしのほか、災害時の緊急輸送路としての機能が期待されています。

この度、平成32年度開通に向け事業中の宮古老道路において、地元の山口一丁目、山口二丁目自治会から依頼があり、28世帯44名の参加を得て現場見学会を開催いたしました。

三陸沿岸道路 宮古老道路 山口地区住民による現場見学会 開催状況

開催日時：平成27年6月21日（日）10:00～

開催場所：（仮称）山口第2トンネル



▲工事状況の説明



▲短冊に思いを書きいただきました。
七夕まで現場事務所に飾ります。



▲トンネル工事で使用する機械を見学しました。



▲トンネル内に設置するボルトカバーに
メッセージを残していただきました。



▲山口第2トンネル切羽付近で記念撮影。
皆さま見学ありがとうございました。